心　療　・　精　神　科

Department of psychosomatic & psychiatric medicine

１．目的と特徴

精神医学的知識に裏打ちされた、高い見識と倫理観、コミュニケーション能力を持った医師の育成を目的とする。そのための方法として、まず、正確かつ合理的な診断と治療と行うために必要な、精神医学全般に関する知識と技術を習得する。さらに、習得した知識や技術を生かし、他職種とのコミュニケーション（チーム医療）、他科とのコミュニケーション（リエゾン業務）、院外とのコミュニケーション（地域連携）能力を身につけた、general psychiatrist となることを目標とする。

当院の心療・精神科は、主に外来とリエゾン業務を中心としている。外来では、大人の発達障害、月経前不快気分障害、男性更年期障害、認知症（BPSD）の専門外来を開設している。リエゾンでは、せん妄、および、救命救急センターの自殺企図者への対応を中心に行っている。また、臨床試験を含む各種研究活動も活発に行っている。

これからの時代に必要不可欠とされる、メンタル・ヘルスのスペシャリストをめざす医師の皆様には非常に適した環境であると考えている。

２．指導スタッフ

教授（部長）	大坪　天平
助手	山元　健太朗
後期研修医	森本　雄高

３．研修施設

基幹施設：東京女子医科大学附属足立医療センター

研修協力施設：特にないが、後期臨床研修医の将来計画に応じ、適宜、検討する。

４．研修カリキュラム

Ａ：一般目標

精神疾患の診断と治療を行うために必要な、精神医学全般に関する知識と技術を習得し、世界に通用するgeneral psychiatristとなることを目標とする。

Ｂ：行動目標

１）主要な精神症状・症候群を適切に把握できる。
２）精神医学的診断の方法、手順を理解し、実行できる。
３）精神医学に必要な諸検査（心理検査を含む）の方法、手順を理解し、実行できる。
４）主要な精神疾患に関する、症状、病態、診断、治療に関する知識を身につける。
５）実際の臨床において、主要な精神疾患の診断と治療を実行できる。
６）支持的精神療法や認知行動療法などの精神療法の方法、手順を理解し、実行できる。
７）入院治療が必要となる症例の適応を判断し、介入ができる。
８）自傷他害の危険性が高い症例に対して、精神医学的介入ができる。
９）精神保健福祉法の概略を理解し、適切な運用ができる。
10）メディカルスタッフとの連携を理解し、チーム医療が実行できる。
11）院内他科との連携を理解し、リエゾン業務が実行できる。
12）地域の精神保健福祉システムとの連携を理解し、地域連携が実行できる。
13）学会に参加し、症例報告や研究発表、論文投稿ができる。
14）精神保健指定医の資格を習得する。
15）精神科専門医の資格を習得する。

Ｃ：年次別研修スケジュール

年次別のスケジュールはないが、後期臨床研修医の将来計画に応じ、適宜、他施設での研修を検討する（例えば、児童・思春期、老年、アルコール・薬物、触法精神医学等を専門としたいという希望がある場合には、適当な施設での1～3年間の研修を認める）。

Ｄ：週間予定

毎日、午前中は外来診療、午後は外来診療とリエゾン業務。月曜夕に、スタッフ・ミーティング。土曜は、症例カンファレンスと抄読会。

Ｅ：評価

一定の評価基準はないが、スタッフによる十分と判断しうる臨床経験と、専門医資格または指定医資格または学位の取得が最低基準である。

５．後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後は、就職を希望する者は、積極的に東京女子医科大学附属足立医療センターに助教として採用する。また、他施設への紹介も、責任を持って行う。

６．学位

希望者には、取得できるように指導を行う。なお、現在、当科では、臨床精神薬理、社会認知機能（社会脳）、精神医学領域における医療経済に関する研究を中心に行っている。

７．指定医・専門医

精神保健指定医、日本精神神経学会認定の精神科専門医などの取得が可能である。

８．問い合わせ先

東京女子医科大学附属足立医療センター心療・精神科　大坪天平

〒123-8558　東京都足立区江北4-33-1

TEL　03 - 3857- 0111

FAX　03 - 6807- 1746

E-mail:otsubo.tempei@twmu.ac.jp